

講師プロフィール

棚川寛子（たなかわ・ひろこ）／舞台音楽家

“楽譜の読み書きが出来ない舞台音楽家”。静岡県在住。演劇作品の音楽作曲のほか、劇中で演奏する俳優指導も行う。静岡県舞台芸術センター（SPAC）制作 2014 年『マハーバーラタ』（フランス・ヴィニョン演劇祭正式招聘作品）、2017 年『アンティゴネ』、2018 年『Révélation 顕れ』（フランス・コリーヌ国立劇場委嘱作品）等の音楽を担当。また、2017 年には尾上菊之助主演の新作歌舞伎『極付印度伝マハーバーラタ戦記』の音楽を担当するなど、ジャンルを超えた作風は定評がある。

小中学校、特別支援学校、児童養護施設等におけるワークショップや作品作り、ポータブルな本格演劇「テーブルシアター」での活動も展開。正規の音楽教育を受けてないにもかかわらず、この分野でのアウトサイダーアーティストとも言える稀有な存在である。

「私にとって音楽は手段のひとつです。音楽だけで完結することに目的を見いだせないと言うか……台本があって、人間がいて、身体があって、言葉がある。役者、美術、照明、衣装、音響、大人、子ども、全てが活かしあってひとつの音楽になればいいなと思っています。私がつくりたいのは曲ではなくて、ただ心の動かされる瞬間なのかもしれません。」

引用元：

<https://performingarts.jp/J/art_interview/1801/1.html>

